

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅰ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
1 学年	5 回	コミュニケーション講座 (サービス介助論)	(公財)日本ケアフィット共育機構
<p>【講義概要】 現在の日本は高齢者の急激な増加により、総人口の4人に1人が65歳以上です。また、加齢とともに障がいのある人たちも増え、日常生活や外出に手助けの必要な人が多くなることも予想されています。当然、様々な業界においても高齢な方や身体に障がいのある方々の利用は増えていくことでしょう。しかし、実際には身体的な衰えやさまざまなバリアによって、外出に対して不安を抱えている人もいます。</p> <p>この授業では、高齢社会のこと、高齢者の身体的特徴、介助が必要な方をお迎えする上での心構えなどを中心に学び、「サービス介助」の基礎を身につけます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 是非、授業を通して自分が住む社会や周りの人に対して、目を向けてください。同じ地域に住む人、学校の行き帰りで出会う人、卒業し就職した企業でお客様としてお迎えする人などに対して、「自分ができることは何か」をこの授業でつかんでください。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅰの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学 習 目 標			
① 相手の立場を考え行動するための「ホスピタリティ・マインド」を向上させる。			
② 相手にとって安全で安心できる「正しい介助知識」を身につける。			
指 定 テ キ ス ト			
<p>指定教科書 「サービス介助士2級・準2級検定取得講座公認テキスト」 発行 公益財団法人日本ケアフィット共育機構</p>			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定 (15:10~16:40)

回	日程	授 業 内 容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	サービス介助とは？ホスピタリティマインドの必要性	実技・講義
2		高齢社会の理解、高齢者の身体的特徴、高齢者への介助方法など	実技・講義
3		車いす使用者への介助方法、車いすの種類、車いす操作の注意点など	実技・講義
4		視覚障がいとは？ 視覚障がい者への手引きの方法、点字など	実技・講義
5		聴覚障がいとは？ 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法など、全体のまとめ	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅰ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
1 学年	5 回	トレーニング講座 (スタビライゼーション)	山田 菜穂子
<p>【講義概要】 スタビライゼーションは、アライメントを意識することにより、体軸を安定させて、体幹（コア）をも刺激するトレーニングメソッドです。主働筋、協働筋、拮抗筋、補助筋群（スタビライザー）を鍛え、バランス能力、リハビリ能力、姿勢反射などのトレーニングができ、体幹（コア）と四肢の安定性を高めます。パフォーマンスの向上だけでなく、筋・関節などの運動器系に対する症状のケアや、リハビリテーション、スポーツ障害、成長障害の予防、高齢者の転倒予防など、多岐に渡り活用することが可能です。講義では、スタビライゼーションの理論と正しい実技、スタビライゼーションの指導方法を学びます。 講義終了後は、申請することで「スタビライゼーション・アドバンサー」の資格が取得できます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 柔道整復師を目指す皆さんにとって、「トレーニング」はとても重要なキーワードとなります。「痛みを取り除き、受傷部位の回復を図ること」（ケア）と「受傷前と同じ事ができる元の状態に戻すこと、再発防止の為に強化すること」（トレーニング）は密接で重要な関係だからです。トレーナーとして活動していきたい方も、パフォーマンスを向上させる為の知識や技術は欠かせません。多くのセラピストやトレーナーが活躍する中、皆さんが患者様やクライアントに何を提供できるかは、今後大切なポイントとなります。 皆さんの知識の引き出しの一つとして受講していただけたらと思います。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅰの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①スタビライゼーションの理論を理解し、正しいスタビライゼーションを行うことができる。			
②アライメントを意識し、位置感覚のズレやイメージと実際の動作の差異などを確認修正できる。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	4/25（木）	スタビライゼーションとは ～理論と実技～	実技・講義
2	10/25（金）	ストップスタビライゼーション	実技・講義
3	11/8（金）	スロースタビライゼーション	実技・講義
4	11/15（金）	クイックスタビライゼーション・指導方法	実技・講義
5	11/22（金）	指導演習	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅰ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
1学年	5回	トレーニング講座 (ドラウタビリティ)	山田 菜穂子
<p>【講義概要】 自分自身が本来持っている「身体能力を引き出す」トレーニングメソッド「ドラウタビリティ (Droutability)」を学びます。トレーナーやコーチなどが一方向に指導する主流のものとは違い、競技者や対象者の個人個人の能力を引き出し、能力を引き伸ばすメソッドです。 単に身体を動かすだけのトレーニングではなく、感覚器官を総動員して行うプログラムにより、考えて判断し身体を動かすことで、フィジカル（身体）とブレイン（脳）を刺激してパフォーマンスを高め、脳を活性化させることも期待できます。講義では実技を中心に、実際に現場での活用方法なども考えながら行っていきます。 講義終了後は、申請することで「ドラウター」の資格が取得できます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 アスリートはもちろん、子供から高齢者まで楽しみながら行えるトレーニングメソッドです。パフォーマンス向上のトレーニングとしても、運動が苦手、動くのが嫌いな方への運動指導や、認知症予防の脳トレとしても活用できます。 参加した皆さん自身にも、発見のある楽しい時間となります。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅰの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①ドラウタビリティの理論を理解し、様々な実技プログラムを行うことができる。			
②ドラウタビリティの活用方法を考えることができる。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定 (15:10~16:40)

回数	日程	授業内容	講義形態
1	4/25 (木)	ドラウタビリティの基礎理論	実技・講義
2	11/29 (金)	ドラウタビリティの実技効果	実技・講義
3	12/6 (金)	ドラウタビリティの指導について	実技・講義
4	12/13 (金)	ドラウタビリティトレーニング	実技・講義
5	12/20 (金)	エビデンスに基づいた運動指導の必要性和有効性	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅰ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
1 学年	5 回	コミュニケーション講座 (手話講座)	中村 直子
<p>【講義概要】 「手話」という目で見ることばの基礎を学びます。日常会話に必要な挨拶をはじめとした基礎単語や数字、指文字など表現方法を楽しんでいきます。また聴覚障害とのコミュニケーションをする時の留意点などの知識を身につけていきます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 2006年12月13日国連総会で「障害者権利条約」が全会一致で採択されました。その条約に「手話は言語である」と明記されています。日本も2014年1月20日に条約を批准しました。日本にも多くの手話を使う人達があります。現在、全国各地の自治体では手話言語条例ができ、学校、職場、役所、病院、交番などでも手話が広がっています。声の届かない場所でも目に入れば会話ができる手話は、聞こえる人達にとっても便利なことばです。 手話をしっかり見て、手を動かして覚えていきましょう。目で見ることばですので、生活の中から生み出された手話表現もたくさんあります。普段の生活でも「聞く」ことだけに頼らず、物の形や動き、人の行動など様々なものを注意深く「見る」ようにしてみてください。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅰの単位として認定されます。規定の出席率60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①手話に親しみ、挨拶表現などを身につける。			
②手話を通して聴覚障害者に対する理解を深め、柔道整復師の役割を知る。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	挨拶表現 「見る」「聞く」ということについて	実技・講義
2		自己紹介の仕方と指文字の表し方	実技・講義
3		家族の表し方と数字の表し方 耳のしくみ	実技・講義
4		趣味や仕事の表し方	実技・講義
5		総合的な復習 手話で歌を歌ってみましょう	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅱ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
2 学年	5 回	スポーツトレーナー講座	高木庸介・村瀬訓生
<p>【講義概要】 テーピングは解剖学的な構造および外傷・障害の発生機転などにそって身体の一部にテープを貼ったり巻いたりする方法の事です。 代表的な目的に、①外傷の予防 ②応急処置 ③再発予防があげられます。そしてその効果として、①関節の特定の動きを任意に制限する ②圧迫を加える ③痛みを和らげる ④精神的な助けとなる があります。 実技においては基本的な注意やテープの特性、テーピングの名称などを理解し、テーピングを実施する際の準備、テープの切り方、はがし方についても理解していただいてから、各論に入っていきます。 【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 臨床において選手や患者さんに対し、テーピングを巻く、もしくは指導することができるよう短時間の講義ではありますが、テーピングの扱い方から実際の使用する感覚を体験し、習得を目指します。 【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
① テーピングの目的や効果を正しく理解できる。			
② 基本的なテーピング方法を理解し実施できる。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	総論 テーピングの基礎技術・足関節テーピング	実技・講義
2		各論 足・膝関節のテーピング	実技
3		各論 肉離れ・足関節のテーピング	実技
4		応用 実践編テーピング	実技
5		講義 呼吸循環生理と筋組成	講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅱ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
2 学年	5 回	介護・健康指導講座	細野 昇・杉山 友彦・山本 光彦
<p>【講義概要】 介護保険制度が始まって10年以上経過しました。ますます高齢化は進み介護を必要とする人(要介護者)が増え、それに伴い介護給付が増大し、介護保険は存続の危機に陥っています。それを是正するために政府は、平成18年4月から「予防」に重点を置くシステムを導入しました。その中の1つとして創設されたのが「機能訓練指導員」という職種です。今回の授業では、機能訓練指導員という仕事を知ることと同時に、柔道整復師の高齢化社会への役割を考えてみます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 柔道整復師は、機能訓練指導員として「訓練を行う能力を有する者」としての職能を認められています。柔道整復師という専門性が介護現場で生かせること、また、高齢者の運動機能を向上・維持することは、ひいては高齢者やそのご家族のQOLを高める仕事であることを知っていただき、卒業後の進路のひとつの方向として考えてみて下さい。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①介護保険制度を通して高齢化社会における柔道整復師の役割を知る。			
②機能訓練指導員の実際の業務を体験する。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定 (15:10~16:40)

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	介護保険制度の概要	講義
2		介護保健と柔道整復師	講義
3		機能訓練指導員とは、機能訓練の必要性など	講義
4		嚥下障害ならびに食事療法について	講義
5		機能訓練指導員の業務内容、実際の初期評価～計画書の作成、 訓練内容	講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅱ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
2 学年	10 回	国試対策講座（専門基礎科目）	荷田 翼
<p>【講義概要】 専門基礎科目（解剖学・生理学）についての国家試験対策を行います。講義形式は約 40 分の講義後、20 分ほど暗記の時間を設け、最後に確認テストを行います。講義では国家試験で出題頻度の高い分野や単語を抽出し、覚えるべき単語、説明できる力を養いたい分野を明確にし、国家試験の中でも特に単純に知識を問う問題に対し、対応できる能力を身につけていきたいと考えています。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 解剖学・生理学は医療の基礎となる重要な分野です。また国家試験での出題数も多く、必要な知識を早い段階から明確にしておくことは対策としても重要です。</p> <p>講座内容は解剖学・生理学となりますが、項目に関しましては希望に沿って行いたいと思います。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
国家試験にて出題頻度の高い単語を優先的に覚える。			
知識を問う問題に対応できるようになる。			
指定テキスト			
解剖学 改訂第 2 版(社)全国柔整学校協会監修			
生理学 改訂第 3 版(社)全国柔整学校協会監修			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15:10～16:40）

回数	日程	授業内容 ※一例です。	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出し ます。	【解剖学】細胞および組織	講義
2		【生理学】生理学の基礎・体液の生理学	講義
3		【生理学】血液の生理学	講義
4		【解剖学】消化器	講義
5		【生理学】消化と吸収（消化）	講義
6		【生理学】消化と吸収（吸収）	講義
7		【解剖学】泌尿器	講義
8		【生理学】尿の生成と排泄	講義
9		【生理学】栄養と代謝	講義
10		まとめ	講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅱ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
2 学年	10 回	国試対策講座（専門科目）	川口 央修
<p>【講義概要】 専門科目（柔道整復学）についての国家試験対策を行います。講義形式は約 40 分の講義後、20 分ほど暗記の時間を設け、最後に確認テストを行います。講義では国家試験で出題頻度の高い分野や単語を抽出し、覚えるべき単語、説明できる力を養いたい分野を明確にし、国家試験の中でも特に単純に知識を問う問題に対し、対応できる能力を身につけていきたいと考えています。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 柔道整復師になるにあたり、柔道整復学は基礎となる重要な分野です。また国家試験での出題数も多く、必要な知識を早い段階から明確にしておくことは対策としても重要です。</p> <p>講座内容は柔道整復学中心となりますが、項目に関しましては希望に沿って行いたいと思います。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①国家試験にて出題頻度の高い単語を優先的に覚える。			
②知識を問う問題に対応できるようになる。			
指定テキスト			
柔道整復学 改訂第 6 版(社)全国柔整学校協会監修			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15:10～16:40）

回数	日程	授業内容 ※一例です。	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出し ます。	【柔道整復学】総論Ⅰ	講義
2		【柔道整復学】総論Ⅱ	講義
3		【柔道整復学】総論Ⅲ	講義
4		【柔道整復学】総論Ⅳ	講義
5		【柔道整復学】総論Ⅴ	講義
6		【柔道整復学】上肢各論Ⅰ	講義
7		【柔道整復学】上肢各論Ⅰ	講義
8		【柔道整復学】下肢各論Ⅰ	講義
9		【柔道整復学】下肢各論Ⅰ	講義
10		まとめ	講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅱ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
2 学年	10 回	柔道教室	櫻井 太郎
<p>【講義概要】 柔道の基本動作を体得する。 形と一般練習との間合いの違いについて実習にて体得する。 投げ技については打込み練習、約束乱取り（固め技含む）を行い、技の理合いを理解できるように実技指導する。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 精力善用・自他共栄 柔よく剛を制す 礼に始まり礼に終わる</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。 ※昇級審査予定日：2019 年 12 月上旬予定 ※昇段審査予定日：2020 年 8 月上旬予定</p>			
学習目標			
①柔道の基本動作を体得する。			
②柔道を通して精神・身体の鍛錬、世に補益することを目標とする。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	礼法（立礼・座礼）、受身	実技
2		受身（前方回転受身）、投げ技（くずしとつくり）、打込み練習	実技
3		投げ技（背負投、体落、大外刈） 打込み、乱取り	実技
4		固め技（袈裟固め、横四方固め）打込み、乱取り	実技
5		固め技（肩固め、上四方固め）打込み、乱取り	実技
6		絞め技（裸絞め、片羽絞め、送り襟絞め）	実技
7		絞め技（並十字絞め、片十字絞め、逆十字絞め）	実技
8		投の形（手技）浮落、背負投、肩車 打込み、乱取り	実技
9		投の形（腰技）浮腰、払腰、釣込腰 打込み、乱取り	実技
10		投の形（足技）送足払、支釣込足、内股 打ち込み、乱取り	実技

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅲ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
3学年	5回	アスレティックトレーナー講座	小林直行, 鈴木美波
<p>【講義概要】 スポーツに関わりたいと思っている人は多いと思いますが、どのようにしたら関われるのか漠然としている方は多いのではないのでしょうか。柔道整復師としてどのようにスポーツに関わっているのかトレーナー以外の業務も紹介し、さらにアスレティックトレーナーはどのような仕事なのか解説をしていきたいと思ひます。 また、日本体育協会公認アスレティックトレーナーを取得するためにはどのようにしたらいいのかその方法を紹介し、トレーナーの現場の話を交え必要な知識も合わせて学習をしていきたいと思ひます。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 スポーツにどのように関わるのがいいのか、それは個人の目的で異なると思ひます。いろいろな例を出しながら講義を進めますので、一緒に将来を考え、多くのスポーツ選手の未来を守り、競技力の向上に協力できるような将来像を描いていきましょう。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅲの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①スポーツへの関わり方を知る			
②アスレティックトレーナーの業務を知る			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配付する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	スポーツへの関わり方、女性トレーナーとしての実際の活動	実技・講義
2		アスレティックトレーナーの役割と取得への道のり	実技・講義
3		柔道整復師の知識を生かした外傷後のメディカルリハビリテーションとアスレティックリハビリテーションの流れについて	実技・講義
4		患部外トレーニングの考え方とその実際	実技・講義
5		コンディションとコンディショニングの考え方	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅲ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
3 学年	5 回	超音波医用画像講座	日本超音波骨軟組織学会 (JSBM)
<p>【講義概要】 リアルタイムに身体の内部構造を探る手段として、医療機関では超音波画像解析装置が普及している。この装置は非侵襲的であることから、接骨院での普及率も年々高まってきている。これからも超音波を利用した画像化技術は、柔道整復師の施術の一助として有効に活用され続けることが推測され、そのメカニズムについて理解を深めておきたい。さらに、上肢ならびに下肢の代表的な部位を対象に実際の走査方法を実習し、得られた軟部組織や骨関節の画像について解析していく。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 超音波画像装置はこれからの接骨院においてスタンダードに利用されていくことが推測されます。しかし、プローブの走査方法や画像の解析方法には慣れと経験が必要です。学生の頃にこの講座を受講しておくことで、資格取得後の実際の臨床現場での活用に一歩進んだ自信が得られることを期待しています。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅲの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①超音波医用画像検査の概要とそのメカニズムを学習する			
②上肢ならびに下肢のプローブ走査方法を体験し、得られる画像の概要を理解する。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配布する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	超音波の概要 (日本超音波骨軟組織学会)	実技・講義
2		上肢の超音波画像の概要	実技・講義
3		上肢の超音波画像の概要	実技・講義
4		下肢の超音波画像の概要	実技・講義
5		下肢の超音波画像の概要	実技・講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅲ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
3 学年	5 回	財務・会計講座	高橋克典
<p>【講義概要】 各社会保険の種類と経営者の義務について学ぶ。 (労災・雇用保険・健保・年金・退職・解雇など)</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 将来、接骨院を経営するにあたって必要な各社会保険の特徴を身につけて、開業に備えて下さい。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅱの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①各社会保険の特徴を知る。			
②経営者の義務、責任を知る。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配布する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	労働法とは	講義
2		働く人雇う人のルール	講義
3		安全衛生と労災保険	講義
4		雇用保険と健保・年金	講義
5		退職・解雇	講義

分野：選択科目 科目：スキルアップ講座Ⅲ

配当年次	授業回数	講座	担当講師
3学年	5回	開業支援講座	林 云海・東和ハイテック
<p>【講義概要】 治療院開業については、準備から運営まで、必要最低限な知識・ノウハウなどを説明します。</p> <p>【授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）】 開業することは、素晴らしいことです。しかし、開業はイコール成功ではありません。資金・技術・集患者（客）・スタッフ教育など、様々な試練がまっています。また、急増した治療院間の競争が激しくなってきた現在、どのような治療院は患者さんに支持・信頼されるのでしょうか？みなさんと一緒に考えていきたいです。また、レセプト管理は接骨院業務には必須です。各種日常業務中での様々な患者情報をデータベースとして管理や解析を続けることが、業績の拡充につながります。コンピュータソフトを利用した、その一例を提示し理解を深めていきます。</p> <p>【履修の条件留意点】 この科目は選択科目 スキルアップ講座Ⅲの単位として認定されます。規定の出席率 60%以上で履修とする。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。</p>			
学習目標			
①治療院開業についての必要最低限な知識を習得する。。			
指定テキスト			
必要に応じてプリントを配布する。			
評価基準：規定の出席率を満たすことで単位を付与する。			

授業予定（15：10～16：40）

回数	日程	授業内容	講義形態
1	決定次第 掲示板に 張出します。	開業の心構え、治療院のコンセプト、人・物・資金・情報	講義
2		開業資金調達、立地、物件、契約、内装工事、接骨師会	講義
3		機材・衛材購入、施術メニュー、料金決定、スタッフ募集・教育、 許認可、集患（客）、など	講義
4		必要な経費、損益分析、技術とサービス、人間的成長、繁盛院の 特徴	講義
5		最新のレセコン紹介及び取扱法	講義